奈良市議会だより

No.135
平成30年8月1日発行

〒630-8580
奈良市二条大路南一丁目1番1号
奈良市議会事務局 ☎(0742)34-4790
■発行／奈 良 市 議 会
■編集／奈良市議会広報広聴委員会

5月19日開催の第５回議会報告会

6月定例会

議長に東久保耕也氏を選出
副議長に森岡弘之氏

本市議会は、平成30年６月定例会を６月11日から６月28日までの18日間の会期で開きました。

この定例会では、議長・副議長の選挙を行い、議長に東久保耕也氏、副議長に森岡弘之氏を選出しました。これに続き、常任委員会の委員の選任などを行いました。

市長が提出した18議案のうち、30年度一般会計補正予算など10議案を原案どおり可決し、財産の取得など３議案と人事案件４件に同意し、１件の市長専決処分を承認するとともに、諮問１件を諮問のとおり答申することに決定し、市長専決処分の報告など15件の報告を受けました。

議員より委員会条例の一部改正が提案され、原案どおり可決しました。

目　　次

◆正副議長あいさつ…… 2
◆新しい議会の構成…… 2・3
◆そこが知りたい質疑・一般質問 …… 4～6
◆補正予算等特別委員会…… 7
◆議会の情報…… 7
◆議案等の議決結果とその賛否…… 8

議案や質問内容等、市議会ホームページで更に詳しくご覧頂けます。 http://www.city.nara.lg.jp/www/contents/1147327344586/index.html

就任のあいさつ

議長　東久保　耕也

副議長　森岡　弘之

市民の皆様には、平素より市政並びに市議会に対しまして、格別のご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

私どもは、このたびの六月定例会におきまして、奈良市議会の議長及び副議長の重責を担わせていただくこととなりました。

誠に身の引き締まる思いであり、適切な議案審議はもとより、円滑な議会運営に努めてまいる所存でございます。

さて、近年、日本国内の経済状況は回復基調にあり、その要因の一つとしてインバウンド需要の増加が挙げられております。

世界遺産をはじめ多くの魅力を有する本市におきましても、本年はキャンベラ市との姉妹都市提携二十五周年という節目を迎え、新たな観光振興施策の推進に取り組むなど、インバウンドを活かしながら、時代に合った政策の実施が必要だと考えております。

市議会といたしましては、二元代表制の一翼を担うべく、常に公正・公平な議会運営を心がけながら、政策立案や提言を行い、私ども議員三十九名共通の目的であります「奈良市政の発展・市民福祉の向上」のために全力を注ぎ、議員一同、謹厳実直に取り組む決意でございます。

今後とも市民の皆様の格段のご理解とご協力を賜りますよう心からお願い申し上げまして、就任のご挨拶といたします。

新しい議会の構成

(平成30年７月６日現在)

総務委員会

委員長

山口裕司（やまぐちひろし）
広報広聴委員
(日本共産党市会議員団幹事長)

副委員長

塚本勝（つかもとまさる）
(新風政和会幹事長)

横井雄一（よこいゆういち）
広報広聴副委員長
(自民党市議会)

三橋和史（みはしかずし）
(無所属)

内藤智司（ないとうさとし）
広報広聴委員
(改革新政会)

北良晃（きたよしあき）
(自民党市議会)

森岡弘之（もりおかひろゆき）
副議長
(公明党市議会議員団)

観光文教委員会

委員長

山本憲宥（やまもとかずひろ）
(自民党市議会)

副委員長

田畑日佐恵（たばたひさえ）
広報広聴委員
(公明党市議会議員団)

樋口清二郎（ひぐちせいじろう）
議会運営委員
(改革新政会)

林政行（はやしまさゆき）
広報広聴委員
(無所属)

北村拓哉（きたむらたくや）
(日本共産党市会議員団)

九里雄二（くりゆうじ）
(公明党市議会議員団)

森田一成（もりたかずなり）
議会運営委員長
(自民党市議会)

中西吉日出（なかにしよしひで）
議会運営委員
(新風政和会)

厚生消防委員会

太田晃司
（自民党市議会）

白川健太郎
議会運営委員
（日本共産党市会議員団）

副委員長
山出哲史
広報広聴委員
（改革新政会）

委員長
宮池　明
（公明党市議会議員団幹事長）

伊藤　剛
（公明党市議会議員団）

八尾俊宏
議会運営委員
（自民党市議会）

酒井孝江
広報広聴委員
（無所属）

柿本元気
議会運営委員
（改革新政会）

市民環境委員会

阪本美知子
（改革新政会）

道端孝治
議会運営委員
広報広聴委員
（自民党市議会）

副委員長
松下幸治
広報広聴委員
（新風政和会）

委員長
三浦教次
（日本維新の会市議団幹事長）

鍵田美智子
（改革新政会）

藤田幸代
議会運営副委員長
広報広聴委員長
（公明党市議会議員団）

植村佳史
（無所属）

山本直子
広報広聴委員
（日本共産党市会議員団）

建設企業委員会

東久保耕也
議長
（自民党市議会）

早田哲朗
議会運営委員
（公明党市議会議員団）

副委員長
大西淳文
（日本維新の会市議団）

委員長
階戸幸一
（改革新政会幹事長）

土田敏朗
（自民党市議会幹事長）

松岡克彦
（日本共産党市会議員団）

井上昌弘
議会運営委員
（日本共産党市会議員団）

松石聖一
（無所属）

そこが知りたい 質疑・一般質問

6月14日・15日・18日の本会議では、24人の議員（うち代表質問7人）が質疑・一般質問を行いました。
以下は、質問と答弁の要旨です。（発言順）

※所属会派は質問時点の会派です。

代表質問

災害時の防災拠点庁舎の耐震化を

自民党　道端　孝治

問　多くの自治体で災害時の拠点とするため、庁舎の耐震性能を総合的に判断する指標のＩＳ値を1・5とする免震設計で庁舎が建て替えされている中、なぜ37億円かけてＩＳ値1・25で耐震化するのか。

市長　本庁舎の耐震補強は、国の基準に準じたもので、一般官庁施設のＩＳ値は1・0であるが、大地震発生時でも在庁者の安全確保と庁舎機能の確保を実現する必要から安全性の目標を設定した。

バンビーホームの昼食提供減免制度の拡充を

公明党　九里　雄二

問　平成30年の夏休みからバンビーホームでの昼食提供が開始予定である。
就学援助制度を利用し、給食費を免除される世帯の児童が、バンビーホームでは減免制度の対象とならず、昼食代の負担が発生することについてどう解決するのか。

市長　生活保護受給世帯、市民税非課税世帯に加え、学校給食で就学援助制度の対象となる世帯にも昼食費の減免制度を設けていきたい。

県域水道一体化構想災害時の対応は

日本共産党　井上　昌弘

問　県営水道への転換により自己水源廃止の動きが県内各地で進んでいる。災害時の対応に支障を来すと考えるが、企業局長の見解は。

企業局長　市では給水量の約8割を市の浄水場で賄っており、県の一体化構想後も基幹浄水場として存続する予定で、災害時対応に支障はない。
自己水源を廃止した他市町村では問題が考えられるため、各事業体の実情を踏まえ、検討会等で問題提起したい。

ごみ減量化市民の協力で実現を

改革新政会　内藤　智司

問　新クリーンセンターの供用開始まで今の工場を延命しなければならない。そのためにもごみの減量化を進める必要があるが、その取り組みは。

市長　老朽化した現在の焼却炉の負担軽減や、新クリーンセンターをコンパクトな規模にするには、ごみの減量化は特に重要な課題である。
雑がみの再資源化や生ごみの水切りなどのごみ減量化を、自治連合会等を通じて広く市民の協力を訴えたい。

地域包括支援センター機能強化のため委員会を

市民の声 奈良　鍵田美智子

問　地域包括支援センターが13圏域となり、介護予防・日常生活支援総合事業も同時期に開始された。地域包括支援センターの機能強化のため、客観的評価を行う有識者による委員会設置の考えは。

市長　客観的評価の必要性は認識しており、地域包括支援センターの機能強化を進める中で、福祉のまちづくりのビジョンを整理し、多様な観点から意見を頂ける有識者の委員会を設置していきたい。

学校諸費用の徴収事務ＩＴ化で効率化を

日本維新の会　三橋　和史

問　学校諸費用に関しては毎月の徴収や管理などで膨大な事務が発生し、学校現場の多大な負担となっているが、ＩＴ化による事務効率化を確実に推進すべきでは。

教育長　保護者の経済的負担の軽減と学校現場における相当量の事務作業軽減につながると考えることから、南都銀行が実施する学校諸費用の口座振替Ｗｅｂ化システムを利用出来るよう、切り替え作業を段階的に進めている。

大和西大寺駅からの観光歩行者の安全対策を

新風政和会　塚本　勝

問　近鉄大和西大寺駅から平城宮跡への移動は主に徒歩となるが、北側、南側とも大変危険である。駅周辺整備や周辺の歩行者の安全性の確保などをどのように考えるか。

平城宮跡へ続く狭い道路

市長　歩行者の安全性、利便性確保のため、自由通路を整備するとともに、駅周辺道路の円滑な交通処理対策をハード、ソフト両面から検討した

い。その上で、観光資源への誘導強化を進める等、観光客の滞在時間延長につなげたい。

個人質問

遅れている行財政改革 新たな項目の提示を

自民党　八尾　俊宏

問　現在の行財政改革重点取組項目は平成29年度で終了し、未達成項目や継続中の項目があるのに次期項目の策定が遅れているのはなぜか。

総合政策部長　次期項目の策定、公表に向けた意見集約と内容精査に時間を要したが、一定の方向性は見えてきた。事務的な遅れはあるが、新たな取り組みを加えて充実させつつ、これまでの流れを止めないよう、出来る限り早く具体的な取り組みを示したい。

小中学校普通教室 エアコン設置の計画は

公明党　田畑日佐恵

問　子どもたちがより快適に集中して学習等が出来るよう、教室の室温は17度以上28度以下に基準が見直されたが、エアコンが設置されていない状況では意味を成さない。市のエアコン設置の計画は。

教育総務部長　エアコン設置の必要性は認識している。長寿命化改修の一環や、空調設備のみの先行整備の手法など、他自治体の例も参考に検討し、国等の財政支援も要請していきたい。

公共施設等総合管理計画 住民意見の反映を

日本共産党　山口　裕司

問　公共施設は地域住民にとって必要な施設であり、まちづくりにも関係する。30％削減の計画ありきではなく、住民の声が反映されなくてはならないが、その考えは。

財務部長　計画は40年の長期計画であり、人口減少や施設の更新等を見据えて統廃合を進めていく必要がある。

　施設の統廃合については、関係者及び住民等への情報提供や意見を聞きながら慎重に進めていく。

はぐくみセンター 人に優しい温度管理を

改革新政会　階戸　幸一

問　市保健所・教育センターでは、電力の使用が契約電力の上限に近づくとアラームが鳴る。空調を調整して電力を下げる対応をしているが、熱中症になった職員もいる。

　このような状況について副市長の見解は。

向井副市長　庁舎の適正温度の設定は地球温暖化対策の一環として行っているが、利用者や、職員の健康が大前提であるので、適切な管理また必要な対応を行っていく。

保健所・教育総合センター

新斎苑計画地の西側山林 市民の防災公園としては

市民の声　奈良　松石　聖一

問　西側山林の事業計画について、防災公園を造ることは市民全体の福利となりえる計画であると確信する。この試案に対する市長の感想は。

市長　地域の憩いの場等の創出は、地域の関係団体からも具体的なまちづくりに関する要望がある。この提案の具体化は、地域と様々な調整等をしていくことが重要と考える。協定書の締結をした上で、夢のある具体的な計画を展開していけたらと考える。

思い切った施策で 企業誘致を

日本維新の会　大西　淳文

問　八条・大安寺地区の面的整備に当たり、企業誘致を考えるには、その地区での補助金や地方税の優遇等、思い切った施策が必要と考えるが、市長の考えは。

市長　大安寺・八条地区は非常に有望な場所だと考えており、県・国、他の自治体なども含め、どのような企業立地の優遇策が効果的かを先進事例も調査する中で、市としても積極的な優遇施策を検討したい。

安全安心を守る消防職員 採用の予定は

自民党　山本　憲宥

問　市民の安全安心を守る消防職員は、平成26年度の４００名から30年度は３７４名と減少している。これ以上の削減は許されない。31年度の消防職員の採用予定は。

向井副市長　消防力の低下を招くことなく、消防活動に影響のないよう、一定の退職者の補充は必要と考える。

　31年度の組織改正、人員配置など、業務を精査する中で組織改革を進めながら、採用人数を決定していく。

LGBT等について 市職員向けの研修を

無所属　林　政行

問　LGBTを含む性的マイノリティーに関する積極的な取り組みのため、まずは職員対象の研修を実施する考えは。

市長　市民生活に必要なサービスを最前線で提供する基礎自治体の市職員が正しい考え方や知識を習得することは大切と考える。平成30年度は管理職を対象に外部講師による研修を、31年度以降は一般職員向けの研修を実施し、更には市民、教員も対象とした取り組みを全庁的に進めたい。

JR平城山駅 バリアフリー化を

公明党　藤田　幸代

問　国は、1日の利用者数が3千人未満の駅でも、バリアフリー化の対象となる基本方針を示しているが、JR平城山駅内外のバリアフリー化は。

向井副市長　移動困難者の利便性からも、駅舎内外を一体として行う必要があり、また最適と考える。駅舎内はJR西日本が担当なので引き続き働きかける。駅舎外は、原則、市が整備するので、様々な課題や国の支援制度などを把握、検討する必要がある。

JR平城山駅のバリアフリー化を

県立高校削減計画 切実な声を県に

日本共産党　北村　拓哉

問　県立高校削減計画について、市及び市教育委員会に対し県立高校の拙速な削減強行ではなく、保護者等から意見を聴き、理解と納得を得る努力をするよう、県教育委員会に働きかけてほしいという要望が届いている。県教育委員会に働きかける考えは。

教育長　市の子どもたちや保護者をはじめ市民にとっても関心があることなので、市民の声を県の教育委員会にも伝えたい。

行政村に向けて 地域自治協議会を出張所に

新風政和会　松下　幸治

問　市長の公約の出張所改革はあらゆる手続きをタブレット等で可能にする想定と思うが、そうなると地域自治協議会を出張所として手続きを可能にする情報システム構築が必要である。小さな自治体、行政村に向けた市長の考えは。

市長　地域自治協議会と出張所改革は目的が異なる。

今後も出張所の機能拡充など住民サービスの向上に努め、地域自治協議会は住民自治の観点から支援したい。

幼児健診の長い待ち時間 体制の整備は

改革新政会　樋口清二郎

問　母子保健法で義務付けられている幼児の健康診査で、長い待ち時間が発生しているのは体制の問題ではないか。

向井副市長　健康診査の待ち時間短縮に向けて、課全体で弾力的な運用や、工夫を凝らして対応しているが、待ち時間の短縮は実現していない。担当の保健師は毎年採用しており、確保に努めている。更に人員体制を含め、考えられる改善に取り組み、更なる待ち時間短縮につなげたい。

市内撮影の映画への協力 市の考えは

無所属　植村　佳史

問　市を舞台にした映画「やどり」が5月に撮影され、8月には市出身の映画監督、山寄晋平氏の作品「テイクオーバーゾーン」の撮影が市内で行われる。これらの作品は、観光面でも有益と思うが、市としての考えは。

観光経済部長　奈良の良さをPR出来る機会であり、市としても撮影場所の紹介等、積極的に協力したい。またロケ地巡り等、多くの方に来て頂くことも期待している。

切れ目ない若者支援へ プラットフォームづくりを

公明党　宮池　明

問　子ども・若者への切れ目ない支援のための横断的な取り組みを進めるには、プラットフォームづくりが重要と考えるが、市長の考えは。

市長　庁内や教育委員会との連携を強化する一方、外部で既に活動している団体との協力、連携も欠かせない。

プラットフォームとして、いわゆる子ども・若者支援協議会を設置し、外部の団体とも連携しながら協議会を機能させたい。

少人数学級編制 現場への周知徹底は

改革新政会　横井　雄一

問　平成30年4月から、小学3年生以上で少人数学級編制が廃止されたが、なぜ少人数学級編制が変わったか知らないという声もある。教職員の意識の向上を図る考えは。

学校教育部長　定例校長会で、改めて新しい学習指導要領の実施に向け、子どもたちが主体的に学び合う授業づくりを進めるよう指示した。

今後も、市教育委員会として、研修等を通して教職員の意識の向上を図りたい。

訴訟が必要な債権回収 担当部署の設置を

無所属　酒井　孝江

問　多くの補助金などが、何らの手を打たず時効を迎え、債権放棄されている。平成27年の予算決算委員会で時効中断について指摘し、専門知識が少なかったとの回答だったが、今もこの状態が続く。

訴訟担当の法務部署を設置する考えは。

市長　訴訟等を必要とする債権回収は専門知見の活用を図る。法務ガバナンス課に弁護士を配置し、支払督促等に個別相談出来る体制を整えている。

生活支援コーディネーター 配置や位置づけは

改革新政会　山出　哲史

問　7月から介護予防・日常生活支援総合事業において生活支援コーディネーターが配置されるが、その位置付けは。

福祉部長　今後の介護人材不足や高齢者の自立支援について多様な施策を展開するため、地域住民が中心となる地域サロン活動等、新たなサービスの創出を目指し、地域包括支援センター等と連携し、協力関係を構築しながら、地域の特性を活かしたサービスの展開が出来るようにしたい。

補正予算等特別委員会

委員長　森岡弘之
副委員長　柿本元気
委員　樋口清二郎
松下幸治
阪本美知子
山本直子
白川健太郎
太田晃司
早田哲朗
大西淳文
東久保耕也

この定例会では、11人の委員で構成する補正予算等特別委員会を設置して平成30年度補正予算等を審査することとしました。

補正予算等特別委員会は、6月18日に正副委員長の互選、資料要求、20日・21日に質疑を行い、委員会に付託された案件15件を慎重に審査しました。採決の結果、いずれも原案どおり可決、承認、同意または諮問のとおり答申すべきものと決しました。

ここでは、質疑のあった項目のみ記載します。詳しくは市議会ホームページの録画中継等でご確認ください。

議案第67号
- 補助交付団体への自主財源の比率等の条件設定
- ケースワーカーと社会福祉主事の配置状況
- 中核市の文化振興補助金調査結果の検討と市の考え
- なら国際映画祭支援のふるさと納税の財源充当
- ふるさと納税の二重返礼品競争防止のルールづくり
- 行政が文化的行事を支援する必要性と市民感覚
- 新たに定めた要項と他事業の整合性
- 補助事業の公募

議案第68号
- 市民共同発電所補助事業の課題
- 市民共同発電所補助事業とはどのようなものか。
- 対象事業者に課す事業費の10％の寄附要件への懸念
- 事業者選定委員会の委員の選出に係る女性登用

議案第69号
- 市いじめ防止基本方針による対応

議案第71号
- 生産性向上特別措置法施行を受けた市の取り組み

議案第73号
- 玄関帳場等を設けない場合等の許可要件の条例明記

議案第74号
- 消防行政における消防団の果たす役割

議案第81号
- 鋼管杭追加の対応による契約変更額縮減と工期短縮

諮問第1号
- 審査請求人の主張とこれまでの市の対応

議会の情報

請願

今定例会で新たに提出された請願書は次のとおりです。

▽平城西中学校区における施設一体型小中一貫校の早期開校を求める請願書

請願者　[redacted]
神功地区自治連合会会長
笹部　和男氏
他1人
（観光文教委員会に付託）

会派の結成・異動・解散

平成30年4月25日付けで会派「新風政和会」が結成されました。所属議員は次のとおりです。

幹事長　塚本　勝
松下　幸治
中西吉日出
（議席順）

平成30年6月26日付けで横井雄一議員が改革新政会を退会され、自民党奈良市議会に入会されました。

同日付けで会派「市民の声　奈良」が解散されました。

同日付けで阪本美知子議員が改革新政会に入会されました。

平成30年6月27日付けで柿本元気議員、鍵田美智子議員が改革新政会に入会されました。

平成30年7月2日付けで三橋和史議員が日本維新の会奈良市議団を退会されました。

これにより、会派構成は次のとおりになりました。

自民党奈良市議会9人、公明党奈良市議会議員団7人、改革新政会7人、日本共産党奈良市会議員団6人、新風政和会3人、日本維新の会奈良市議団2人、無所属5人

委員の就任・辞任

辞任

●議会運営委員
横井　雄一議員　（改革新政会）

柿本　元気議員　（市民の声　奈良）

三橋　和史議員　（日本維新の会）

●広報広聴委員
大西　淳文議員　（日本維新の会）

就任

●議会運営委員
中西吉日出議員　（新風政和会）

樋口清二郎議員　（改革新政会）

●広報広聴委員
松下　幸治議員　（新風政和会）

酒井　孝江議員　（無所属）

2人に表彰状（全国市議会議長会）

5月30日、東京で開催された第94回全国市議会議長会定期総会において、次の2人が表彰を受けました。

議員30年以上特別表彰
松田　末作議員

議員15年以上表彰
東久保耕也議員

議案等の議決結果とその賛否（６月定例会）

○：賛成　×：反対

件名		議決結果	会派名（一部略称）							無所属			
			自民党	公明党	日本共産党	改革新政会	日本維新の会	市民の声 奈良	新風政和会	林 政行	阪本美知子	酒井 孝江	植村 佳史
◆議　案													
予算	平成30年度一般会計補正予算（第1号）	可決	○	○	×	○	※1	○	※2	○	○	×	○
条例	附属機関設置条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	※3	○	○	○	○
	いじめ防止連絡協議会条例の制定	可決	○	○	○	○	○	○	※3	○	○	○	○
	手数料条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	※3	○	○	○	○
	市税条例等の一部改正	可決	○	○	×	○	○	○	※3	○	○	○	○
	特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例等の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	※3	○	○	○	○
	旅館業法施行条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	※3	○	○	×	○
	消防団員等公務災害補償条例の一部改正	可決	○	○	×	○	○	○	※3	○	○	○	○
	病院事業の設置等に関する条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	※3	○	○	○	○
その他	市長専決処分の報告及び承認を求めること	承認	○	○	○	○	○	○	※3	○	○	○	○
	財産の取得（２ｔプレスプレート式（ディーゼル車））	同意	○	○	○	○	○	○	※3	○	○	○	○
	工事請負契約の締結（（仮称）学園南こども園園舎改築その他工事）	同意	○	○	○	○	○	○	※3	○	○	○	○
	町の区域等の変更	可決	○	○	○	○	○	○	※3	○	○	○	○
	工事請負契約の一部変更（（仮称）辰市こども園園舎新築工事）	同意	○	○	○	※4	×	※3	※5	×	○	○	○
	使用料の徴収等に関する処分についての審査請求に係る諮問	諮問のとおり答申	○	○	○	○	○	○	※3	○	○	○	○
人事案件	教育委員会の委員の任命（岡本　充智氏）	同意	○	○	※6	○	○	○	○	○	○	○	○
	教育委員会の委員の任命（栁澤　保徳氏）	同意	○	○	※6	○	○	○	○	○	○	○	○
	監査委員の選任（道端　孝治氏）	同意	全会一致										
	監査委員の選任（三橋　和史氏）	同意	全会一致										
◆議会議案													
市議会委員会条例の一部改正		可決	○	○	※6	○	○	○	○	○	○	○	○
◆議会選挙													
議長の選挙		東久保耕也氏当選	得票数　東久保耕也氏22票　内藤智司氏10票 北村拓哉氏７票										
副議長の選挙		森岡弘之氏当選	得票数　森岡弘之氏24票　山口裕司氏８票 内藤智司氏７票										
◆動　議													
県立高等学校適正化実施計画（案）の議決の延期と説明を求める意見書		可決	全会一致										

※１　賛成２　反対１　※２　賛成１　反対１　退席１　※３　賛成２　退席１　※４　賛成４　反対１
※５　反対２　退席１　※６　賛成５　欠席１

（会派所属議員名） 平成30年６月25日現在

会派名	議員数	所属議員名
自民党奈良市議会	8	土田　敏朗　道端　孝治　山本　憲宥　太田　晃司　八尾　俊宏　東久保耕也　森田　一成　北　良晃
公明党奈良市議会議員団	7	森岡　弘之　宮池　明　早田　哲朗　藤田　幸代　田畑日佐恵　九里　雄二　伊藤　剛
日本共産党奈良市会議員団	6	山口　裕司　山本　直子　白川健太郎　北村　拓哉　井上　昌弘　松岡　克彦
改革新政会	5	階戸　幸一　樋口清二郎　山出　哲史　横井　雄一　内藤　智司
日本維新の会奈良市議団	3	大西　淳文　三橋　和史　三浦　敦次
市民の声　奈良	3	松石　聖一　柿本　元気　鍵田美智子
新風政和会	3	塚本　勝　松下　幸治　中西吉日出

植物油インキで印刷しています。　再生紙を使用しています。　印刷：株式会社　明新社